

Attachment E

Press Clippings

1. Danish magazine "Smag og Behag"



2. Danish newspaper “Jyllands-Posten” - 21 October 2012

3. Japanese newspaper “Yomiuri” - 22 October 2012

4. Japanese food magazine "Senmonryori"



新しい6カ国が共有する
美食のアイデア、ンティティ



「ノルディック・スター・シェフ・イン・ジャパン」レポート

「北欧料理」とは北欧の食材のみを使い、北欧の自然観や一日三食を重視し、北欧ならではの「サイン性」をいかし料理している。数ヶ月で北欧をめぐる「世界中から注目される」ノルディック料理の「北欧5カ国の駐日大使館主催によるイベント」「ノルディック・スターレンジヤバ」が開催された。各5か人、5つのシェフが来日し、新北欧料理のコンサートとスタイルを組合した。

シートたらを支える
北欧社会の「食への目覚め」

その翌日に、今後北欧事合場、

「リスヴァイタク、新北欧フードアカデミー」が開催され、

「ノルディック・スターレンジヤバ」が開催され、

「リスヴァイタク、新北欧フードアカデミー」が開催され、

「ノルディック・スターレンジヤバ」が開催され、

「ノルディック・スターレンジヤバ」が開催され、

「ノルディック・スターレンジヤバ」が開催され、

63

専門料理



5. Japanese magazine "Ryori-Okoku"



6. FoodLabo

FOODLABO
食とフードビジネスの未来を創る
Produced by 業田商店

【開催概要】

- ・ワークショップ
- マニフェスト発起人と各国のスターシェフによる、現代北欧料理の特徴、魅力、今後の展望などの紹介。

日時：10月17日（水）10時～11時30分

場所：ノルウェー王国大使館アーケスティックホール

対象：関係者限定（北欧料理・食品業界関係者、北欧旅行業界関係者）

・マスタークラス

7. Dancyu Topics

dancyu topics



北欧

「ノルディック・スター・シェフ・イン・ジャパン」開催!

10月17日～19日、北欧5カ国の駐日大使館が協力して、世界でも珍しい北欧料理の食交流イベントを開催する。2010年、2011年と2年連続で、世界のベストレストラン第1位に選ばれた、コペンハーゲンの「Noma」のおかげで、美食家たちの注目を集めている北欧料理。各国から名だつ、スターシェフが招集され、東京都内のレストランで、一夜限りのスペシャルメニューも披露される予定。詳しくは公式フェイスブックページ(Nordic Star Chefs in Japan)へ。

8. Kokemomo Sweden

KOKEMOMO SWEDEN

| Home | About us | News | Works | Special | Smultron | Topics | Photo | Contact us |

HOME > News > Food > Nordic Star Chefs in Japan

+ Design & Art
+ Fashion
+ Culture
+ Food
+ Music
+ Works



ノルディック・スター・シェフ・イン・ジャパン

2012.10.09

9. E-Food.jp



 北欧5ヶ国の米日スター・シェフが調理デモ

で、マーケットの方向性、商品の戦略、競争の動向など、実務的な知識を身につける。それが、それなりに得意な人にとっては、1人でも多くていいと見てもらおうという内容。ざっとざっと、このカリキュラムですから、見たこともない、新しい飲料開発が何時あるかは日々見ておきたい。

10. E-Food.jp



11. Elle a table - online magazine article

グルメ・エディターズPICK 新しい北欧料理の世界へようこそ！

北欧の力は世界大賞が物語る。米澤幸代選ぶ「北欧フード」2012年10月17日(木)~19日
(金) 03選り抜かれた豪華なイベント「ノルディック・スタイル・アート・イン・ジャパン」、最も貴重
で、これまで見つけられぬモダンなレストランとともに、米澤幸代選ぶ北欧料理がござるよ。



Text: Atsuko Kaneko



01 /07 美しいもの間で注目をあつめる、北欧フード

「ノルディック・キュイジーヌ」という言葉で遊び？ ソラ、今、米澤幸代もちらほらもっとお注目をあつめるのが、北欧フード。その注目度が高まる人のコトが日本。2012年10月17日(木)~19日(金)の3日間ともうすぐ「ノルディック・スタイル・アート・イン・ジャパン」というイベントが開催される。

当日たなは、アーティスト、ファニランド、ノルウェー、スウェーデンの豪勢のシェフたち。それぞれ日本の美術文化を賞美していくのも。今回は「北欧の国」としてタッグを組み新しい北欧食をアピールするものやつてきた。黒化モチーフが現代の北欧料理は、美濃幸代と名い来て注目にしてもらわねばならぬ。

シェフたなともに注目した北欧料理企画代表北欧料理ワーキンググループの真美、アーティストイーリースヴィーク氏によると、最初の良い方や伝統への敬意、海外の文化を上手に日本のそれと融合させて新たな味を生み出すなど、他の視野には日本の胸に心満するポイントがいくつあるという。

新しい北欧料理の世界へようこそ！ その記事をCHECK

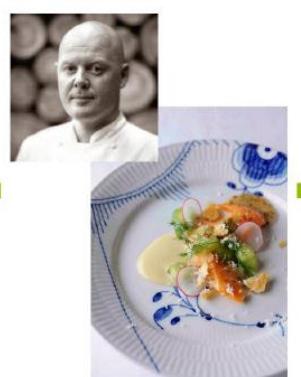


02 /07 場所にも人間にも優しく、感度の高い料理

なるほど、今回日本で秀美さんは「新しい北欧料理のためのミニフェスト」をめぐる、「船旅」、新鮮さ、シフカ、個性を表現する。「自分、季節の乗り変わりを反映させ、などという言葉が記されたり、日本の海にはいきシフカセが組み合われる。

よく訪ねたなは、「僕、つながっているなんて、驚きでもあり、また嬉しいもある。シフカで海港にも人間に優しく、それでアーティストがあれこれ感想の高い料理一それが、北欧の力がこれから日替りしていく料理なのだとしたら、それは間違いなく私たち日本人の舌をも説きさせてくれるはず。

3日間という短い間に、5人のシェフたちが用いてくれたのは、そんな「ノルディック・キュイジーヌ」のたなは可憐だった。次のページから「ブレスイント」でシェフたちがせてくれた、豪華のひと皿にシフカ白身の一品についてのコメントをご覧。これからもっともっと日本でブレイクしそうな北欧料理のスターたちが織りなす美食の一冊を、どうぞご覧あれ！



03 /07 アーティスト/トーステン・シュミット

「日本の食文化は、北欧と近いのがあります。渋や山の食材を多用することも似ています。日本の食文化をもっと知って実際に会いたい」と、アーティスト「マロン&ショット」の経営者、トーステン・シュミット。その名な「ノーマ」のオーナー、レゼビエヌ監修、ニューノルディック・フードの先駆者をぐんといわれている。しっかりととした料理技術を背景、食材と真に向き合う姿勢が印象的だった。この日の料理は私のひきをつかつた。

マッシュルームとブイヨンスープに半熟卵を添えて。莫じ日本食を意識した感覚あふれる味わい。



04 /07 フィンランド代表/アント・メラスニエミ氏

「食材そのものの味を生かす日本食には、毎回興味があります」と語るのは、現代フィンランド料理の第一人者といわれるアント・メラスニエミ氏。フィンランドのデザインと食を融合させたイベントや、ソーラーラッカーを使ったエコ料理を手掛けるなど、その活動はユニーク。トレーデマークのヌーベンと帽子がナーミングで、気さくなおしゃべりでの会話を楽しめてくれた。

ズズキとワイルドハーブを使用したひと皿。カリッと香ばしく焼いたアートティラプレッドが美味！

05 /07 アイスランド代表/ハーコン・マウル・オルヴァルソン氏

アイスランドから来日したのは、素材を活かしたレシピなど料理が人気で、最近はアイスランド料理を積極的に海外に紹介しているというハーコン・マウル・オルヴァルソン氏。日本の食文化に対しては豊よりも愛着が深く、長い丁寧だ。今回の料理は、「おしゃれな食卓、サーモンを使って煮冠しません。ディルやマスタードとサーモンのマイルドなロースト添えしんでください」

本場のサーモンとディルの爽やかさがさしい感心。



06 /07

ノルウェー代表／ガイル・シャイエ氏

羽冠29歳にして、ポキーズ・ドールという世界有数の料理コンクールで優勝したノルウェー代表のガイル・シャイエ氏。その甘いマスクから生まれる料理は、繊細にして大胆。世界のトップに立つシェフが描く皿の中のアートは、さながら絵画のようだ。今回は、帆立とカリフラワーで美しい一品を構成。「カリフラワーのクリームとヘーゼルナッツのナッティな香りをグリルした帆立と合わせました」

鮮度のいい帆立を軽くグリル。素材のよさを生かしてシンプルに仕上げて。



07 /07

スウェーデン代表／マーリン・セーテシュトロム氏

今回の来日シェフのなかで唯一の女性、スウェーデンのマーリン・セーテシュトロム氏。女性として初めてノーベル賞授賞会のメニューをつくったという実力派は、新しい素材に対しても積極的。この日も上手に和の素材を取り入れた料理を披露してくれた。「スウェーデン北部の食材を選びました。トナカイのタルタルをメインに白鶴の卵を添えてあります。みょうがのピクルスも味のアクセントです」

日本ではめずらしいトナカイ肉を和の要味と合わせてさっぱりと！

12. Elle a table - online magazine article



05 /08

北欧料理にフレンチと
NYのスタイルを融合



モダン・スカンジナビア
ン・キュイジーヌ・レス
トラン「アクアヴィット」
は、2005年に開業した20
年近くに亘り大人気の年
だが、東京店も今や6年目を迎えてますます注
目。白とグリーンを基調
とした店内は、北欧モダ
ンデザインの名門家具で
コート・キート、4つ窓さ
の天井が開放感に満ち、
決算された大人の贅沢空間が広がっている。

料理のコンセプトは、北
欧料理にフレンチのアク
ニクとニューヨークス
タイルを融合。北欧の食
材を豊富に使い、魚介や
肉骨等など醸造物の味のバ
ラエティで人々の味覚に
挑戦したいと好んだ。香
り高い夷酒を肴としてリビー
ト率も高めている理由の
ひとつ。

ランチは、アラカルト
（¥1,500）からスタイ
リッシュなコースまで充
実。アラカルトの個室の
コース（¥600、
¥8,000、¥12,000）が
楽しめる。芳美は、「ス
ウェーデン・ヌードル・スモーク
ハムドード・ヒトウチ自作9
種の盛り合せ」（
¥6,600）や「ナーコース
内」。ニシンの酢漬けや
サーモンマリネなど北欧
らしい前菜を一口ずつ呑
り合させて。

13. Elle a table - online magazine article

WHAT'S HOT

北欧5カ国の スターシェフの味、 味わってみない?

10月17～19日の3日間、北欧5カ国の在日大使館主催で楽しいイベントが開催される。題して「ノルディック・スターシェフ・イン・ジャパン」。期間中の目玉は、日本が誇る5軒の最高峰レストランの料理人と、北欧5カ国からそれぞれ来日するスターシェフとのコラボによる、一夜限りのスペシャルディナー! ニューノルディックの真価を経験できるチャンス。詳細は公式ウェブページで確認を。

来日シェフは、トーステン・シュミット(デンマーク)、アン・マリスニエミ(フィンランド)、ハーコン・マウル・オルヴァルソン(アイスランド)、ガイル・シャイエ(ノルウェー)、マーリン・セデシストロム(スウェーデン)の5人。

●「Nordic Star Chefs in Japan」
一般向けのイベントは、19日の夜のみ、1日限定で行われるスペシャルナイトディナー。日本側の参加店は、「ナリサワ」「レストランよねむら」「レフェルヴェンス」「旬房」「Azure 45」の5店。詳細は <http://www.facebook.com/NordicStarChefsJP/>

14. Foodvoice

フードボイスニュース

食品業界の最新ニュースを最速で報道するフードボイス

TOP | 動画news | 展示会情報 | 食に技あり | 食の書籍 | 食の情報館

2012年10月18日 [sano]

北欧5ヶ国共催「ノルディック・スターシェフ・イン・ジャパン」

北欧5ヶ国(ノルウェー、デンマーク、フィンランド、スウェーデン、アイスランド)が共同開催する食の交流促進イベント「ノルディック・スターシェフ・イン・ジャパン」が、10月17日～19日まで東京で開催される。同イベントは、現代北欧料理の進化を紹介するとともに、食に関する交流を促進することを目的にしたもので、北欧5ヶ国各国からそれぞれトップシェフが来日し、料理学校でのマスタークラスやワークショップ、日本のレストランとコラボレーションによる現代北欧料理のプレゼンテーションを行なう。注目は、ノルウェーから参戦の、ポールポキューズ・ドール国際料理コンクールで優勝経験のある若手シェフ、ガイル・シャイエ。一夜限りのコラボレーションディナーでガイルのパートナーとなるのは、西麻布のフレンチレストラン「レフェルヴェンス」の生江史伸氏。

KOKUBU

フジッコ株式会社

UCC COFFEE

KIRIN

株式会社 AMS

Itochu 食品

15. Shot Magazine



TEXT: Mori Watanabe タ・料飲の中心地は既にここ千葉でしたから、ちゃんと、この2年半でヨーロッパ・チルド・リテール、即ちユーロを確立した西田が有名な利得のコンペティション・ヨーロッパ・リテールのうちの4位を獲得。2011年のヨーロッパ・リテール・コンペティション・ヨーロッパ・リテールのヨーロッパ・リテール・アワードを受賞です！

その15回放送のシェア65%が、ノルティック・スタイル・イン・グランジの範囲にあたりました。ノルティックのためのマニキュア等。日本料理への関心。英語などについて語られていました。新鮮な魚介類。洋服などに手を加えすぎずとも、ナチュラルな形で出す。日本料理にも共通点が多い印象ですが、北欧料理の特徴は、ピュフ、シンプル、フレッシュな味わいです。



「おまかせのイターナンス」のナフラーに参加してきました！ 実際に二人のシェフのお料理が出てくる、12品からなるメニューがなかなか少しご紹介しますね。



キオードブルのなかの一品、こんにゃくのカモール風味(米村シェフ)
カモール風味こんにゃくに合わせるなんて!米村シェフのクリエイティブ
さがうっていました。



[View Details](#)



女おじ、思わずため息一。

本カレリアイパイ(メラスニエミニシップ)
パイ皮にライ米粉が、使用されており、薄く、カリッとしたパイに、小粒のトフィーリングが入っています。糖とバターの味をかけて頂きました。カリカリ感一品の成功。手巻きと入っていくのが不思議！ レシピが欲しい！！ これは、バター最後の瓶がまだありますよ。

卷之三

本大葉とブッダオレンジのソルベ(米村シェフ)
ビッグディナーでしたが、これをいただいた後は大葉が口の中と脳をさっぱりとさせてくれて、また食欲がわいてきました。シンプルに見えますが、2層のコンビネーションは最高! そうそう、余談ですが、米村さんの「



本章由王少白—林海音著—王少白

これからどんな展開をしていくのか、益々北欧のシェフたちからは目が離せません。まだ北欧未体験の方は、ぜひ来年の焼肉祭に足を運んでくださいね。

私が、2年前に北欧のレストランで体験したショットと感激を、ぜひ皆様にも体験していただきたいです！ 実験しないお料理だけでなく、人々の便しさに触れる瞬にやると良いです。

16. Japan Times – 6 December 2012

12/6/12

Japan can learn from the Nordic kitchen | The Japan Times Online

The Japan Times

[HOME](#)

The Japan Times Printer Friendly Articles



International language of food: Danish chef Thorsten Schmidt demonstrates one of his dishes assisted by chefs from the Hattori Nutrition College in November. YUKAKO SHIRAMATSU

FOOD MATTERS

Japan can learn from the Nordic kitchen

By ROBBIE SWINNERTON

Food production in Japan is not in great shape. For decades, rural populations have dwindled and local farmers have been undercut by imports, at both the cheap and

www.japantimes.co.jp/print/fg20121130fm.html

12/6/12

Japan can learn from the Nordic kitchen | The Japan Times Online

luxury ends of the market. Current plans to open up Japan's famously closed farming market through free-trade pacts sound like a death knell for traditional agriculture.

Change is needed, and there could be lessons to be drawn from the other side of the world. In Scandinavia, agriculture is still a vital, thriving sector. More than just remaining viable, the work of growing, catching and supplying food is starting to gain recognition and cachet.

This is a reflection of the new restaurant culture that has emerged in northern Europe. The axis of eating has shifted away from the Mediterranean, and a new generation of chefs is looking to its own traditions, rather than the haute cuisines of the old regimes, France and Italy.

The de facto figurehead of this movement is maverick chef Rene Redzepi, whose Copenhagen eatery, Noma, has been picked top in Restaurant magazine's World's 50 Best Restaurants for the last three years. He and his partner, Claus Meyer, were the driving force behind the New Nordic Cuisine Manifesto, whose uncompromising mantra, "pure, fresh, simple and ethical," has been embraced by chefs and food producers throughout the region.

It has also been endorsed on the governmental level. The five Nordic nations — Denmark, Sweden, Norway, Finland and Iceland — realize that, besides the prestige value of having top restaurants drawing gourmet tourism to their countries, this new approach to eating can have benefits on many levels: improved health, less spending on medical care, a cleaner environment, more job opportunities outside of urban areas and more vigorous rural communities.

That was the message at a promotional event held in Japan last month. Five so-called Nordic Star Chefs, one from each country, were brought over to conduct a cooking master class, hold press events and show off their talents at some of Tokyo's top restaurants.

One of the most intriguing collaborations saw Denmark's Thorsten Schmidt, from Malling & Schmidt in the city of Aarhus, put together some of his dishes at the Michelin-two-starred Narisawa in Minami-Azabu. It was a natural tie-up, as owner-chef Yoshihiro Narisawa is already championing a similar approach of what he calls "sustainable gastronomy."

The Nordic connection looks set to deepen. A stream of Scandinavian chefs have been visiting Japan recently, from Esben Holmboe Bang of Oslo's excellent Maaemo to Bjorn Frantzen of Stockholm's Frantzen/Lindeberg (both with two Michelin stars). And this weekend (Dec. 1 and 2), Schmidt will be back in Japan as one of the guest chefs at Farming Frontier 2012, a mini expo organized by Japan's ministries of agriculture and economy.

The main aim of this two-day event is to promote Japanese farming, from organic market gardening to the high-tech agribusiness of the future. For visitors, though, it's an opportunity to discover and sample a wide range of food and drink, including artisan tofu and premium wagyu beef from Yonezawa in Yamagata Prefecture and

12/6/12

Japan can learn from the Nordic kitchen | The Japan Times Online

other top areas.

There will also be a Sake Street, with exhibits, samples, an izakaya-style bar and a panel discussion featuring former Japan Times sake columnist John Gauntner. There is still plenty to celebrate when it comes to Japanese food and drink — and we can always learn from the world around us too.

Farm Frontier 2012 will be held at Tokyo Big Sight in Odaiba, Tokyo, on Dec. 1 and 2 (10 a.m.-5 p.m.). Entrance is free. For more information, visit www.meti.go.jp/english/press/2012/pdf/1018_01b.pdf.

The Japan Times: Friday, Nov. 30, 2012

(C) All rights reserved

[Go back to The Japan Times Online](#)

[Close window](#)